

亜木津新聞

2月22日は「忍者の日」

海外で「忍者」は「侍」以上の人気だそうです。子供の頃よく忍者「ごっこ」したっけ。

「二」には今でもトキメキますが。。。忍術の起源(伝)

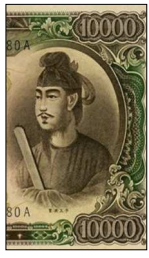


徐福 (ジョフク)

紀元前219年(縄文・弥生時代の中国、秦の始皇帝は徐福という学者に、蓬莱(ほうらい)の地(日本)に行き、「不老不死の妙薬を探そう」と命じた。徐福は三千人を連れ、日本各地を訪れた。徐福一行は稲作などの中国の最新技術を伝えた。伊賀に定住した渡来人から伝えられた先進技術が忍術の始まりと言われている。

参考：THE ROOT OF NINJAのサイト

意外な忍者使いと忍者(伝)



聖徳太子

最古の忍者(大伴細人)の主。朝廷や豪族の情報を入手、活用した。



天下の大泥棒 石川五右衛門

伊賀で忍術を学ぶ。裕福な大名から盗み、義賊と呼ばれた。秀吉の居城、聚楽第で捕らえられ、「子と共に油で釜茹でに。



「奥の細道」は隠れ蓑?

芭蕉II江戸幕府の隠密?その根拠は。

- ① 伊賀出身で先祖に忍者がいた。
- ② 何度も旅の資金と関所の通行手形は幕府の公認密偵だからやりくり出来た。
- ③ 江戸時代の45歳という高齢で東北地方「奥の細道」総距離2400kmを宿泊しながら、ほぼ徒歩で1500日で踏破。一日50km以上移動した日もあった。異常な脚力。
- ④ 宮城県では、絶景松島に滞在せず、当時幕府に謀反の疑いのあった仙台藩の軍事施設など重要拠点で綿密な視察をした。

くノ一は敵の屋敷に女中として入り、出入りの小間物屋や里帰り先の実家に扮した忍者に情報を流して謀報活動をした。特に美しい女子は敵の妾となり、親元からの衣装箱に「忍び」を隠して屋敷内に潜入させるなどして情報を得た。



「くノ一」=「女」忍者

参考：noen-japanのサイト

忍者ニュース



忍びの里 伊賀・甲賀 日本遺産認定

2017年日本遺産に認定された忍者の発祥地、伊賀(三重県)甲賀(滋賀県)には複雑な地形と城館など、戦乱の時代を駆け抜けた忍者の伝統が今も息づく。



甲賀忍者検定(実技含む)の試験風景

参考：日本遺産ポータルサイト

甲賀は「忍者検定」を初めて東京で実施。伊賀は三重大学の入試に「忍者」を追加。



大阪を騒がせた連続窃盗「ニンジャ」遂に捕まる!

昨年10月25日大阪で逮捕された連続窃盗犯、通称「忍者」は74歳だった! 8年間に254回の不法侵入、計3千万円を盗む。唯一の手がかりは防犯カメラに残された黒づくめの敏捷な姿。最後の犯行時、防犯カメラに顔が映り、警察は犯人を監視していた。日中よたよたと老人を振る舞い、夕刻になると空き家で黒装束に着替える。暗くなると路地を走り抜け、軽々と壁を乗り越え、住居に侵入した。

参考：JAPAN TIMESのサイト



積雪のニュースを見て



安藤広重「蒲原 夜之雪」 「天ぼかし」



安藤広重「蒲原 夜之雪」 「地ぼかし」



安藤広重「蒲原 夜之雪」 切手「地ぼかし」

名古屋にも12月27日1cm程度ですが初雪がありました。...と原稿を書いている1月26日夜明け前から雪が降り始め、市内でもマイナス2.8度、3cmの雪が積りました。テレビのニュースで見た傘をさす人の画像を見て、私は安藤広重の東海道五十三次の「蒲原 夜之雪」をふと思いつきました。この浮世絵には、絵柄が2種類あると説明を受けたことがありますが、天空に墨が引かれている初摺り(上右図)と、画面の中ほどに墨が引かれている作品(上左図)の2作品です。この2種類を区別して「蒲原 夜之雪」の「天ぼかし」「地ぼかし」とそれぞれ呼ばれているんだそうです。東海道五十三次中でも傑作の一つです。1960年に切手になっていますが、「こちらは「地ぼかし」の方ですね! 坂を上る人、傘をさすほめて下る人、遠くの家の並ぶ線、左の雪を被った枝ぶり、三角形の線が交差する構図が素晴らしいです。因みに東海道五十三次の中で雪が描かれているのは、この「蒲原 夜之雪」と「亀山 雪晴」の一宿です。ところで、静岡の蒲原では、滅多に雪は積もらないだそうです。では広重は、どうして蒲原を豪雪地帯として絵を描いたんでしょうかね? これは研究者の中でも「謎」になっているようです。

(出典：知足美術館HP浮世絵ギャラリー)ほか

【フジモンのガスケット講座】



⑥ 面圧保持力について
今月も ガスケットの厚さのお話。ガスケットは単体で機能するものではなく、フランジに挟み込みボルト締めを行うことで密封します。装着時にガスケットの圧縮されることで、フランジ表面の凹凸に入り込み、馴染むことでシールが可能となります。厚いガスケットの方がより荒れたフランジ面に対応しますので、荒れたフランジをご使用の場合には圧壊強度や面圧保持力などを考慮しながら厚み設定をしてください。

参考：ラングラー技術資料

【読者よりのお便り】

今回の新聞も面白い。スタランドがあったとは初耳で、地形からそうかなと推測できます。アジアの穀倉地帯だったのも推測に難くなく日本への伝来と、餅の話とことわざは教訓的で結構でした。来年も期待しています。

T.S様

明けましておめでとございます。お餅に関する話、興味深く拝見しました。子供の頃、家に臼と杵があって餅つきをしました。誤って母親の手をついたこともあります。すいません。今年もよろしくお願い致します。

A.S様

T.S様、A.S様ありがとうございます。読者のお便りが「コミュニケーション」の場になれば望外の喜びです。お便りお待ちしております。

編集者



「裸の銃(ガン)を持つ男」

1988年 アメリカ 85分

監督 デビッド・ザッカー

脚本 ジェフリー・ザッカー

ジム・エイブラハムス

出演 レスリー・ニールセン

プリシラ・プレスリー

O.J.シン普森

ロス市警のお騒がせ刑事事ランクトレピンが巻き起こす騒動を描いたドタバタコメディ。訪米するエリザベス女王の警備を担当する事になったランクは、女王暗殺の情報をつかみ、捜査に乗り出す。

初めて観賞したのは20年以上前ですが、今回見直してもその時同様、「ほんとはバカだなあ」と爆笑させてもらいました(褒め言葉です)。10秒に1回は笑わせにくるボケっぱなしの80分。とにかく、くだらなくてバカバカしいギャグの連続、下品でお下劣、でも最高に笑えるアメリカンコメディの金字塔的作品です。

ピカデリー加藤

